

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く できて いない							
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]														
(1)理念の明確化														
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				『住み慣れた我が家で安心して生活するために』というスローガンを掲げること で理念を明確化している						
(2)適切な人材の育成														
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				スタッフ個々が、事業所の理念や目標を理解し、当該サービスの特徴についても理解を深め、より質の高いサービス提供を目指していけるよう取り組んでいる						
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			年間の研修計画を作成し、スタッフの学習の場を確保するとともに、事業所会議で定期的に学習会を開催している また月刊誌を購入し、自己学習も推進している						
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				スタッフの能力が十分発揮されるよう経験や能力に合わせた配置を考慮するとともに、同行訪問を実施することでスタッフ間の指導体制を組んでいる						
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			一体型事業所であるため、常に情報共有できる環境である。また本年度より定期巡回の担当看護師(窓口)を決め、相互理解を深めるよう取り組んでいる						

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント		
				実施状況							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く できて いない				
(3)適切な組織体制の構築											
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	○				一昨年度よりシフト制を導入し、早朝から夜間までの訪問に対応(柔軟なサービス提供)できるよう人材配置している			
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	○				適時適切な開催がされている 要望や助言に対しても随時対応している			
(4)適切な情報提供・共有のための基盤整備											
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるように工夫されている	○				関係者間で社内メールや事業所間カンファレンス等を活用し、情報の更新・共有を行っている 外部事業所等には電話での連絡で対応している			
(5)安全管理の徹底											
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等、事業所において具体的な対策が講じられている(交通安全、夜勤訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				施設の事業継続計画書や事業所の災害対応手順書を作成 安全運転講習会や災害時の対応についての学習会を開催している			
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に、管理者や職員において共有されている	○				利用者にかかわる書類の取り扱いのルールを決め、周知されている			

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く できて いない							
Ⅱ 過程評価 (Process)														
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供														
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成														
①	利用者等の24時間の暮らし全体に定着した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者・介護者から個々の生活に関する情報を収集し、アセスメントに反映させている 他のサービス事業所からの情報も積極的に反映仕組み作りを進めたい						
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				介護・看護の担当でアセスメントを実施し、内容について検討する機会を設けている						
②	利用者の心身の機能の維持回復や自宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			看護やリハビリスタッフと情報共有し、心身共により自立した生活ができることを意識した計画作成を心掛けている						
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			ケアマネジャーを含め、多職種で利用者の予後予測やリスク管理が検討できるようになってきている 「未来志向型」の計画作成に努めたい						
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し														
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応型サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状態変化や介護者の状況に合わせて、随時対応・訪問を実施し、柔軟にサービス提供を行なっている						
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			看護スタッフのモニタリング訪問と介護・看護の定期的かつ継続的な評価を実施し、利用者等の状況変化を把握している またそれらを踏まえ、新たな課題を計画に反映するよう努めている						

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント	
				実施状況				コメント		
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く できて いない			
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供										
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的な・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が分かれている	○				利用者の状況に合わせ、専門職が効率的で効果的に関わることができるよう役割分担してサービス提供している		
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			定期的に学習会を開催し、必要な知識の習得のため指導を受けている また必要に応じて相談し、助言をもらえる体制ができています		
(4)利用者等との情報及び意識の共有										
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				サービス契約時やサービス提供前に、サービスの特徴やアセスメント⇒計画書の作成等、情報提供と説明を実施している		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				計画書交付の際、目標と具体的なケア内容について説明している 介護者の役割についても明確化し、共通の認識が得られるよう対応している		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				介護者(家族等)に対し、適時適切な報告・相談を実施している		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント					
				実施状況										
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く できて いない							
2. 他職種連携に基づいた包括的・継続的なマネジメント														
(1) 共同ケアマネジメントの実践														
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				継続的な評価・モニタリングの情報を共有するとともに、変化に応じてサービス提供日時等の見直しを共同で行なっている						
		23	計画の目標達成のために、必要に応じてケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	○				利用者の状況に応じて、サービス(フォーマル・インフォーマル)の活用等、プランに対して積極的に提案をしている						
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				担当者会議以外にも普段から利用者情報を積極的に発信し、必要に応じてカンファレンスを開催するなど、多職種への情報提供を行なっている						
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的なマネジメントへの貢献														
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○			地域住民(民生委員等)をはじめ、災害時の安否確認や避難協力等の支援について、ケアマネジャーを含め多職種での検討に着手した						
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○				退所・退院前のカンファレンスに参加し、必要な情報の共有や対応の検討を実施している 利用者に応じて退院時共同指導加算を算定している						
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		○			施設(各事業・サービス)として「連携」を意識してサービス提供するとともに、専門職が適時適切に関わり、多職種へ発信・共有できるよう努めている						

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント						
				実施状況				コメント							
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く できて いない								
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画															
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案															
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			議事録をホームページに掲載している							
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			地域の居宅ケアマネジャーや施設の職員(多職種)を対象とした定期巡回サービス説明会を開催 一層の広報周知に取り組みたい							
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画															
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			当該サービスをはじめとする地域密着型サービスが地域包括ケアシステムの中核的な役割を担っていると理解している							
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				特定の建物等には限定せず、地域提供型サービスを展開している。							
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)				○	県内の他の定期巡回サービス事業所との情報交換の機会(ネットワーク)がなく、情報共有や具体的な課題提起、改善策の提案等ができていない状況である							

自己評価・外部評価 評価票

甲州定期巡回随時対応型訪問介護看護ステーション

R1年度

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					コメント
				できて いる	ほぼ できて いる	できて いない ことが 多い	全く できて いない		

Ⅲ結果評価 (Outcome)

①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			「在宅生活の継続」という観点ではどの利用者も目標の達成ができています 今後は保険外サービスやインフォーマルケア等も視野に入れた計画目標の作成とその達成に努めていきたい	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				24時間対応(相談を含め)サービスという点で、利用者や家族の十分な安心感が得られている	